

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0190502781		
法人名	株式会社 創成事業団		
事業所名	グッドケア・平和通 とまと館		
所在地	札幌市白石区平和通16丁目北9番1号		
自己評価作成日	令和 3年 2月 8日	評価結果市町村受理日	令和 3年 5月 12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0190502781-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0190502781-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ニッポン・アクティブライフ・クラブ
所在地	札幌市北区麻生町3丁目5の5 芝生のアパートSK103
訪問調査日	令和3年2月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

令和2年6月1日付けで事業承継につき「グッドケア・平和通」へ名称変更となっています。現在、所属する町内会と自然災害時に当事業所を一時的な避難場所として活用できるよう、また、緊急時には町内の方々の協力を得られるように情報の提供や連絡体制をつくっています。コロナウイルス感染対策強化期間では来客や面会の制限など活動や交流にも制限があり、毎年おこなっていた季節行事ができず代わりに季節にそって行事食を企画し楽しんだり、室内ではありますがレクリエーションで「運動会」をしたりと楽しめる活動を提供してきました。また、健康管理面でも協力医療機関との連携をとり皆様の健康管理や相談の情報協力いただきながら家族様と一緒に対応しております。当ホームでは「看取り」の対応もさせていただいております。一人一人の人生の最期を家族様と共に送りさせていただけるよう研修をおこない勉強しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所はJR平和駅から徒歩で数分の札幌新道近くの住宅地に立地している。平成31年に現在地に移転後、令和2年6月より新母体法人により新たな事業所としてスタートした。新たな地域で地域住民とバーベキュー大会や近隣の子供たちなど多くの方々と交流を深めたり、川下公園のライラック祭りやふるさと祭り、白石神社祭りなど多くの地域行事に参加したりしていたが、現在コロナ禍により交流会や外出は自粛している。事業所内は台所を中心にした明るく開放感のある造りで、ユニット毎に壁やドアの配色を考慮した落ち着いた雰囲気になっている。職員は、管理者との個人面談や申し送りで理念を唱和したり、掲示を見て業務の中で振り返ることで理念をしっかり把握し、それぞれの利用者の望み、尊厳のある生活を熱心に支援している。職員は法人研修などで接遇を学び、明るい笑顔で優しく利用者に話しかけ、適切な対応を行い温もりのある家庭的な生活を支援している。また、コロナ禍が中々終息しない中、事業所内の温度や湿度管理、定期的な換気、直接手に触れる場所へのアルコール消毒と感染症予防対策を取りながら、利用者や家族にとって安心できる事業所として努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
	○			○	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I.理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	当施設理念に「地域との交流を大切に」という言葉を組み入れ、施設内に掲示し常に確認できるようにしています	事業所理念は玄関や居間、事務所に掲げている。母体法人は新たに代わったが、理念は開業して15年経っている。職員は掲げられている理念を念頭に置きながら日々のケアに努めている。	母体法人も代わり、コロナ禍などの社会情勢や利用者の介護度、地域の状況も変わりつつあり、長年掲げている理念を、今回、職員全員で新たな事業所理念として作成する事を期待する。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	緊急事態宣言やコロナウイルス感染対策で外部との交流がとりにくい環境だが、運営推進会議を郵送でやりとりしたり、火災報知器の連絡先を町内にも登録させていただき有事の際に協力いただける体制をとっています	町内会に加入しており、町内の祭りなどの行事に参加して交流を深めていたが、コロナ禍により自粛中である。敬老の日には町内より紅白饅頭をもらっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	外出自粛や面会制限で家族様、町内会へは毎月の様子を写真付きで広報誌として発送しています			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	緊急事態宣言や、会社からの面会自粛指示などでどのような方法で開催しているか？など情報収集や郵送にてやりとりできる方法の検討など時間がかかってしまい今年度1回しか開催できていません	運営推進会議は年6回の開催に向けた運営に努めていたが、コロナ禍により会議参加者の自粛をしてもらった。事業所内で書面会議として実施し、会議内容を各参加者に発送し、内容等の意見や要望を得ている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護保険課のほか生活保護課の担当者様とも必要に合わせて連絡をとっています	管理者は電話や各種申請で市や区の担当者を訪問した際に、事業所の運営状況や空き状況を報告するとともに、事業所のサービスや取り組み等を伝えたり、感染症予防対策の指導を受けるなど、日頃から協力関係を築いている。グループホーム連絡者会議より、感染症等の情報を得ている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修の中止などで外部情報が乏しかったのですが、インターネットで検索し情報収集したり1つの対応についてもこの項目に当てはまらないか確認対応しています	定期的に身体拘束適正化委員会を虐待防止委員会を開催している。身体拘束の弊害や具体的禁止行為、不適切な言動について運営推進会議等で行ない理解を深め、実践に活かしている。スピーチロックは全職員で注意をしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	年4回の「身体拘束・虐待防止研修」のほか、委員を選出し、マンネリからおこりうる言葉使いや接遇などの乱れをお互い注意できる取り組みをおこなっています			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業、成年後見人制度について、管理者は自己学習し、適宜関係機関との連携を図っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面内容についてわかりやすく説明し、質問などを受ける時間もつくりながら納得いただき契約を交わしています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に「ご意見箱」を設置し家族様が意見を出せる環境づくりと周知をしております。現在はお電話やアンケートで意見を言っていたるように案内しております	利用者の生活状況は、「グッドケア・平和通」のお便りで毎月家族へ報告し、電話などで意見を聞くようにしている。事業所内に意見箱を設置し、家族や友人・知人が訪問した時の為の環境作りをしている。家族等の来訪については、現在のコロナ禍により自粛をお願いしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	コロナ感染対策の元、会議時間の縮小や会社命令により集まり会議が開催できないときは個別に相談や意見を受け付けています	管理者は職員と定期的に面談を行い、職員の自己評価と意見や要望を聞いている。管理者は職員の評価を含め母体法人にも報告している。日常の業務や会議等で意見や要望を聞く機会を設けながら運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月1度管理者会議の中で、各事業所管理者との交流や意見交換、情報収集し事業所の職場環境や整備に活かしています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップのために受講可能な研修の援助や人事部による面談などをおこなっていました		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会との連絡会はコロナ感染対策の為開催されていませんでした。法人内での他グループホームとの情報交換や相談はおこなっていました		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お一人お一人の入居前の生活歴を大切に、不安な事や要望など思いを伺いながら安心して過ごせる環境づくりを努力しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の面談の際に家族様が抱えている不安や要望を伺い入居後には気兼ねなくお互い相談していけるように入居後の様子をお伝えしています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居後に必要と思われる事について本人様・家族様へサービス利用の提案をさせていただき、その反応や意見に応じて対応しています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々のこれまでの生活習慣に配慮しながらADL状況や残存機能を理解し、それぞれにあった生活に関わるお手伝いやご自分でできることを尊重したお声掛けをしています		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	支援の方向について家族様にも一緒に考えていただけるようにコミュニケーションを大切にしています。また日常の様子を写真付きの広報誌でお伝えしたり本人様の声がとどくよう本人様と直接お話ができるように電話などの支援をおこなっています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	希望された際は電話の取次ぎ支援や、お手紙作成の支援などをおこなったり、居室に思いでの写真や家族写真を貼って懐かしめるような環境づくりをしています	コロナ禍により、家族や友人・知人等の来訪は自粛してもらっている。利用者とのなじみの関係継続に、電話や手紙の代筆などで継続の支援をしている。2ヶ月に1回、理美容師が来訪し、利用者との馴染みの関係を継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様一人一人の性格や状態を把握したうえでトラブルで嫌な思いをしないように座席の配慮や、個別の対応をし気持ちよく皆さんで過ごせるように支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も、その後の生活に不安がないように相談を受け可能な限りの支援をおこなっています。また、お手紙を送らせていただいたり関係を大切にしています。			
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様をよく知る為、日頃の関わりを多くとりながら個々のペース大事にして安心できるように支援しています。困難な場合は家族様へも相談しています	利用者の表情や仕草、日々の会話等から思いや意向を汲み取り、記録に残し職員間で共有している。出来るだけ希望に沿えるように、家族等に働きかけをしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様からも思い出の話や写真やなじみの物など本人様の馴染みの感じられる空間づくりをしています			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録や申し送りや体調面の変化や認知症症状の変化などに沿ってケアできるように相談しながら対応しています			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	コロナ感染対策で会議(カンファレンス)の方法を工夫し、ノートなどで情報収集やアセスメントシートを回覧するなど工夫して作成している	コロナ禍で家族の来訪や長時間の会議は自粛しているなか、電話や文書等で家族の意向や意見を確認し、モニタリングや会議で出た意見を基に、短期6ヶ月、長期1年で見直して介護計画を作成し家族の承認を得ている。また、特段の体調変化が見られるときには随時対応して、常に現状に即した介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の様子を記録し情報共有しています。また定期的にモニタリング(月間ケース記録)を作成し状態にあったケアができるよう計画書に活かしています			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われず、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診、歯科往診、マッサージ往診、主治医の往診など家族様の協力もいただきながら個々のニーズにあったサービスを導入しています			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染対策で町内会の方との交流ができませんが、終息の際には以前のように町内の催しや運営推進会議への参加のお誘いをおこなっていきます			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回のかかりつけ医の往診、急変時は24時間相談できるようになっています。また、他科受診の必要の際は家族様にも協力いただき受診できるよう送迎などもおこなっています	入居前からのかかりつけ医への受診を、家族と協力しながら支援している。基本的には家族対応での受診になっているが、職員が付き添い受診することもある。協力医と歯科医の往診は月2回あり、母体法人の看護師が週1回訪問し利用者の健康管理を支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回看護師の訪問があり、健康観察と健康相談をおこなっています。1週間の情報をまとめて看護師に引継ぎをし連携を図っています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に必要な情報はすみやかに提供し、入院中の様子を家族様やソーシャルワーカーからいただきながら早期に退院いただきお迎えできる環境をつくっています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取り研修をおこなっています。また、看取りの段階になった際にも本人様にとってさいぜん十分に家族様の意見を伺い看取りに関わる契約を交わしています。本人様にとって最善の方法でケアできるよう	入居時に、重度化した場合における対応の指針を利用者や家族へ説明し、同意を得ている。入院を希望する方もいるが、医師や訪問看護師、家族・職員が連携協力し安らかな看取りを行っている。職員は、緊急時や終末期のケアなど研修会を通して学び支援につなげている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の連絡網を作成しており、定期的な研修で緊急対応について学んでいます。必要時は医療職も交え勉強できる機会があります		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練をおこなっています。夜間想定と地震想定も踏まえた訓練をしており、町内会にも参加いただき有事の際には協力いただけるように連絡体制も築いています	コロナ禍で消防職員や地域住民の参加はないが、年2回の避難訓練を実施している。また、隣接の介護付有料老人ホームと合同で避難訓練を実施している。備蓄は3日分を確保し、施設はオール電化であるためガスコンロなどの備品を備えている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の管理の仕方について言葉遣いや排泄の情報などプライバシーに配慮した対応を心がけています	利用者一人ひとりに合わせて、誇りやプライバシーを損なわない声かけ、対応を心がけている。馴れすぎた関係にならないよう利用者の呼称は～さんに統一している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	望まれることをくみ取れるように表情や行動の観察をおこない会話の中で決定できる関わり方の工夫をおこなっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	月ごとの行事などは決まっていますが、日常は利用者様それぞれのペースに合わせて居室で過ごしたり、ソファで過ごしたり自由な空間づくりをおこなっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選んでいただいたり、季節にあった服装の準備を家族様にも協力いただき清潔で気持ちの良い過ごし方ができるよう支援しています。またヘアスタイルもその人らしい髪形を保っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様によって可能な片づけやテーブル拭き布きんかけなど食事前後に関係することを一緒にこなっています	母体法人の献立を基に食材が提供されるが、誕生食や行事食は母体法人に事前変更を行いながら、利用者の希望に添える食事を支援している。コロナ禍であるため外食は出来ないが、寿司の出前等で食の楽しさを提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼や嚥下の状態に応じてとろみやミキサー食での提供をしています。摂取量の記録や体重確認、医師からの検査結果での注意点なども参考に提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアをおこなっており、口腔内観察の為仕上げ磨きなども援助し清潔を保っております		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを記録し、気持ちよくトイレで排泄できるように援助しています	排泄チェック表をもとにパターンを把握して、日中は何気ない声かけを行ない、トイレ誘導して排泄の自立支援をしている。多くの利用者はリハビリパンツだが、下着への移行等について職員間で話し合い、状態に合わせた排泄用品で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や乳製品の適宜提供と、運動も取り入れ腹部の状態の観察をしています。最終的に主治医へ相談しています		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	一定の入浴期間は守りつつ、本人様の気分にごくわれない場合は無理にすすめず、時間や日にちを改めて気持ちよく入浴いただけるように提供しています	週2回の入浴を基本とし、利用者の体調や希望により入浴時間含め希望に添えるよう支援している。体調等によって、足浴やシャワー浴、清拭にも対応している。入浴剤やユズ湯などで気分を変える入浴になるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なじみの寝具で気持ちを和らげる空間づくりと照明を暗くするなど夜間帯の入眠環境を整え、個々の入眠時間に合わせて安心できる環境づくりをしています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や調剤薬局と連携をとり、服薬方法や形状など適宜対応しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の楽しみを提供できるようにパズルやフラワーアレンジメントの提供、季節の装飾づくりの為の工作に参加いただいています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの感染対策で外出行事はおこなえませんが、落ち着いた際には花見や紅葉狩り、神社のお祭り、バーベキュー、買い物など楽しみや季節を感じられるような活動を提供していきます	コロナ禍前までは通常の外出や、近隣の川下公園、ライラック祭りなどへの外出をしていたが、現在は自粛している。外出できない事で利用者の心身を考え、行事やレクリエーションを増やすなどして支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の理解が難しくなっている為、所持されている方はいないですが、家族様の協力でほしいものなど代理で購入いただいております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでも電話ができる環境と支援をおこなっています。またお手紙やはがきは本人様の居室へ貼ったり、写真立てに飾ったりしていつでもみられるようにしています		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	気持ちよく過ごせるように清掃し、季節ごとに装飾を変えて時間の経過が感じられる工夫や、ソファを置きいつでもくつろげるように個々の状態に合わせて過ごしやすそうな場所で過ごしていただいています	共用空間の居間は広く、ほぼ中央にある台所からは居室と居間を見渡すことができる。季節感ある飾り付けや行事の写真等が掲示されている。感染症予防対策で、定期的に温度・湿度管理や換気、アルコール消毒を施し、安心して生活できる空間を支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気持ちよく過ごせるように清掃し、季節ごとに装飾を変えて時間の経過が感じられる工夫や、ソファを置きいつでもくつろげるように個々の状態に合わせて過ごしやすそうな場所で過ごしていただいています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族様にも協力いただき、なじまれているものを用意いただくことや、本人様の大事にされていたもの、家族写真を飾り、その人らしい居室空間を作っています	居室はパネルヒーターやクローゼット、カーテンが備え付けられ、利用者と家族は馴染みある家具やベッド等を持ち込み、家族の写真や手作り品などを飾り、落ち着いた居住雰囲気をつ工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日の生活でできることを見極めお手伝いをおこなっていただいております。椅子やテーブルの配置を考え安全に過ごせるように配慮しています		